

議案第 1 号

令和 6 年度東広島市地域公共交通会議予算（案）について

令和 6 年 3 月 22 日提出

東広島市地域公共交通会議
会 長 塚 井 誠 人

1 提案理由

令和 6 年度の東広島市地域公共交通会議の予算（案）について、承認を求めるもの。

2 東広島市地域公共交通会議予算（案）

別紙「資料 2」のとおり

令和 6 年度 東広島市地域公共交通会議予算（案）について

東広島市地域公共交通会議財務規程第 2 条の規定に基づき、令和 6 年度東広島市地域公共交通会議に係る歳入歳出予算を調製した。

○ 収 入

(単位：千円)

款	項	説明	金額	備考
1 負担金	1 負担金	地域公共交通支援・改善に係る負担金	7,820	市負担金
		交通計画進捗管理・策定に伴う負担金	14,980	
		地域交通の共創への取組みに係る負担金	10,000	
		会議運営に係る負担金	1,028	
2 国庫支出金	1 国庫補助金	R 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（※）	32,427	
3 繰越金	1 繰越金	R 5－6 年度繰越金	12,297	
4 雑入	1 雑入		1	預金利息
合計			78,553	

○ 支 出

(単位：千円)

款	項	説明	金額	備考
1 運営費	1 会議費	交通会議等	780	委員報酬
	2 事務費	交通会議事務費	410	事務費・旅費
2 事業費	1 事業費	地域公共交通実証運行支援業務（小谷・志和）	7,820	別 紙 1
		東広島市都市交通計画の進捗管理	3,300	別 紙 2
		東広島市都市交通計画の策定	11,680	
		共創モデル先行事業	10,000	別 紙 3
		東広島市地域公共交通利便増進実施計画改訂業務	8,186	別 紙 4 （繰越金）
		地域公共交通運行改善業務（豊栄）	3,950	別 紙 5 （繰越金）
	2 補助金	R 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（※）	32,427	
合計			78,553	

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金について、R 6 年度より東広島市地域公共交通会議を補助対象事業者とする変更を行っている。補助金が交通会議に振り込まれた後、運行事業者等に対してそれぞれ補助対象路線の交付決定金額の振り込みを行う。

地域公共交通実証運行支援業務 (小谷地域・志和地域)

1 事業の概要・目的

- ・地域が主体となった地域交通の実証運行に係る経費への支援（「小谷地域」「志和地域」）。
- ・実証運行期間中の移動実態調査、潜在需要の掘り起こし、運行計画、実証運行に係る経費の支援など、運行組織への伴走支援を行う。

2 業務概要

- ・実証運行期間中の利用促進に関する支援
- ・実証運行期間中の住民・利用者意見集約（アンケート調査等）の支援
- ・意見集約を反映した運行改善・見直し案の検討支援

3 スケジュール（予定）

R 5 年度	・運行計画の策定・準備 ・【小谷】実証運行開始（10月から） ・【志和】実証運行開始（3月から）
R 6 年度	・【小谷】実証運行終了（8月まで） ・【志和】実証運行終了（2月まで） ・【小谷】本格運行（9月から） ・【志和】本格運行（3月から）

4 令和6年度予算額

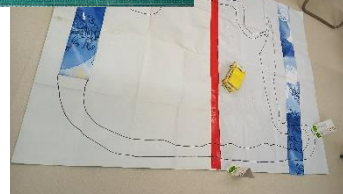
収入：負担金 7,820,000円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 7,820,000円

（小谷：2,760,000円、志和：5,060,000円）

【参考】令和5年度実施内容（小谷）

- ・利用状況把握支援（乗降データ集計、利用傾向分析）
- ・住民・利用者意見集約支援（アンケート調査実施中）
- ・運行改善・見直し案の検討支援（地域への提示案作成中）
- ・利用促進支援（通いの場における乗り方教室、バス便りの発行等）



東広島市都市交通計画の進捗管理

1 要 旨

令和6年6月に策定予定の東広島市都市交通計画の進捗管理について、PDCAの実効性を高めるため、交通会議事務局の事務をコンサルタントによる支援を得て行うものである。

2 令和6年度予算額

収入：負担金 3,300,000円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 3,300,000円

3 事業の背景

(1) 都市交通計画のPDCAサイクル推進の視点

- ・ 都市交通計画のPDCAサイクルを強化していく
- ・ 市交通施策の発信と外部との双方向コミュニケーションを強化
- ・ 計画と補助の連動化への対応

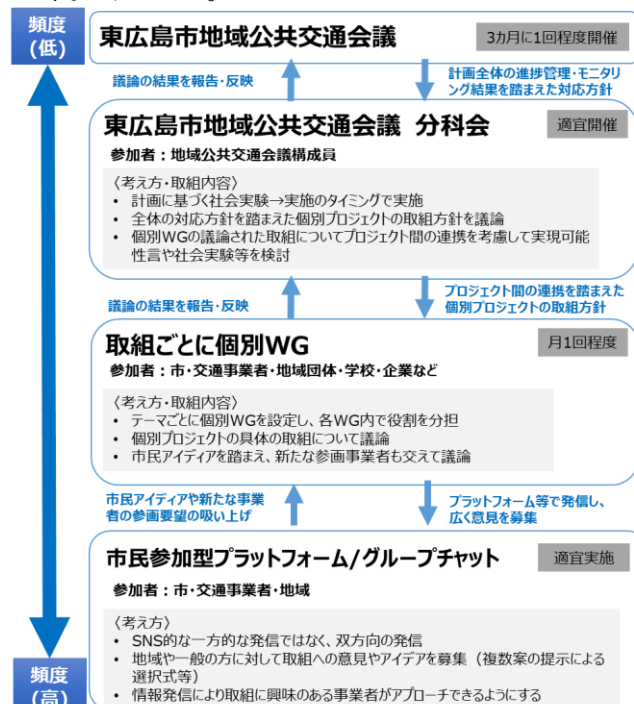
(2) 交通会議運営の視点

交通会議の事務量増大

- 計画と補助の連動化では交通会議が補助金受皿となる。
- 共創プロジェクトの進展など、今後の業務量が増大することが想定

4 事業内容

東広島市都市交通計画の進捗管理（PDCAサイクル）を、交通施策の運営マネジメントの広義に捉える。



▲運営体制イメージ（東広島市都市交通計画（素案）から抜粋）

共創モデル先行事業

1 事業の概要

広島国際大学と交通事業者、市でプラットフォームを立ち上げ、黒瀬地区における大学スクールバスと公共交通（路線バス）との共創について検討を行う。

2 事業の背景

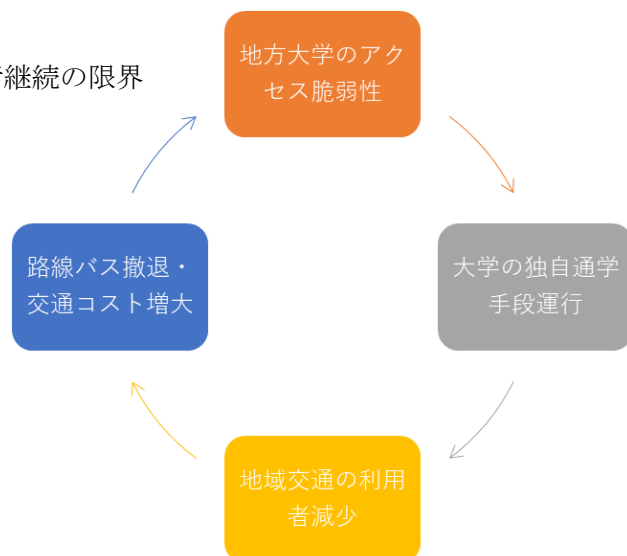
- 広島国際大学開学（1998 年）
- 学生の生活・通勤通学手段において路線バス（広島電鉄・中国 JR バス）、高速バス（中国 JR バス）がキャンパス乗入

（2015 年頃から）

- 大学が独自にキャンパス間輸送の貸切バスの運行を開始
- これにより、広域幹線バスの利用低下し、高速バスが撤退

（現在）

- キャンパス間輸送貸切バス運行継続の限界
- 交通事業者の乗務員不足



3 事業の方向性

- 整備中である黒瀬地区交通結節点を活用した貸切スクールバスの一般路線化を検討
【参考】広島国際大学が運行しているスクールバス
 - ・ 広島国際大学（黒瀬）～矢野駅
 - ・ 広島国際大学キャンパス間（黒瀬～呉）
 - ・ 黒瀬町内シャトルバス
- 一般路線化した路線バスと広島国際大学の関わり方について検討（学生への通学定期費用支援など）
- 企画乗車券やサブスク制度の導入検討
- シームレスに実施するための運賃決済システムの構築検討

4 事業内容

- 路線バス・貸切バスの利用実態整理
- 利用意向調査・利用者数の想定（利用需要予測調査）
- 運行概略計画の検討

5 令和6年度予算額

収入：負担金 10,000,000円（東広島市からの負担金）

支出：事業費 10,000,000円

令和4～5年度 東広島市地域公共交通利便増進実施計画改訂業務 令和6年度への繰越及び変更契約（期間延長）について

1 要 旨

東広島市地域公共交通利便増進実施計画改訂業務について、次の理由により契約期間の延長を行うものである。

2 業務概要と変更内容

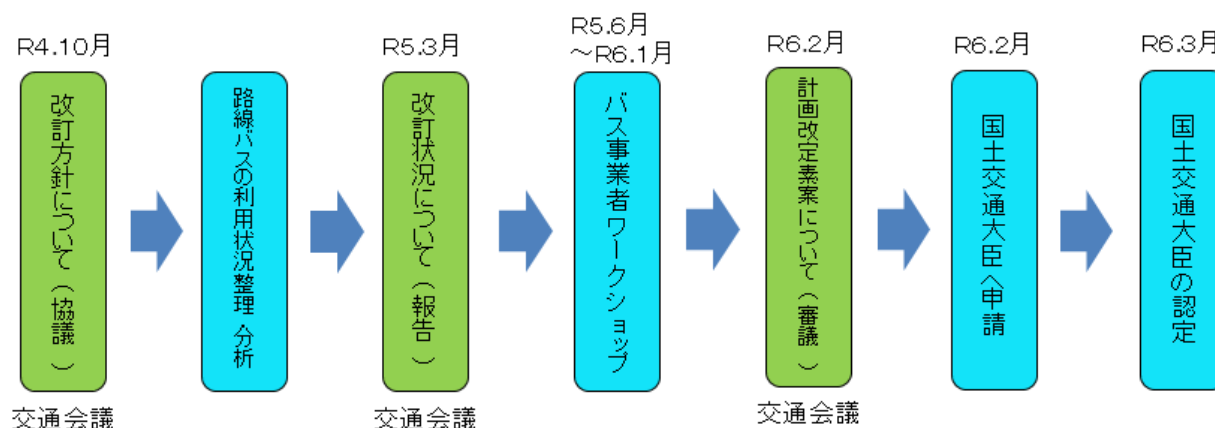
- (1) 業務名 令和4～5年度 東広島市地域公共交通利便増進実施計画改訂業務
- (2) 契約相手方 復建調査設計株式会社 東広島営業所
- (3) 契約金額 16,786,000円
(部分払いとして、令和4年度に8,600,000円支払済)
- (4) 履行期間 令和4年6月21日から
令和6年3月20日まで → (変更) 令和6年9月30日まで

3 変更の理由

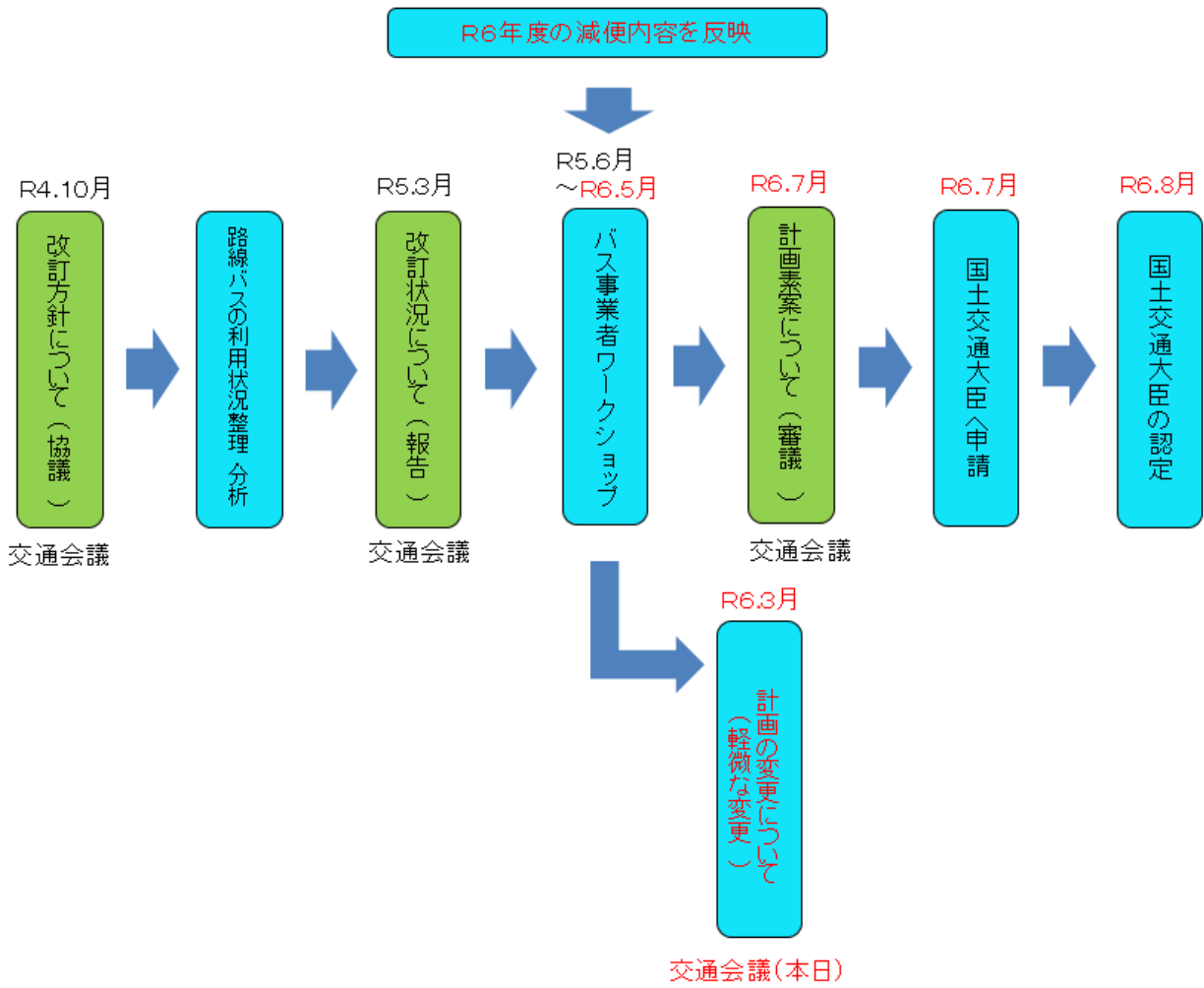
利便増進実施計画を実情に合わせた計画とするため、2024年問題に伴うバス路線のR6年度減便内容を計画に反映する必要性が生じたため。

4 スケジュール（予定）

【当初】



【修正】



地域公共交通運行改善業務（豊栄そよかぜ号）

1 事業の概要・目的

高齢化の進展や公共交通の担い手不足等により、地域公共交通は非常に厳しい状況に置かれている。豊栄そよかぜ号について、利用者数の低迷が続いている状況を受け、地域において、これからの地域公共交通のあり方を考える住民組織が設立され、運行改善への機運が高まってきた。この機を捉え、住民組織と行政が協働して運行改善を図っていくものである。

モビリティマネジメントの取組として地域住民とのコミュニケーションを重視しながら検討を行い、持続可能な地域公共交通の運営のため、住民組織が主体として運営や運行改善、利用促進に取り組んでいく体制づくりを目指す。

2 対象路線

豊栄そよかぜ号

3 予 算

R 6 年度

収入（R 5 年度繰り越し※）：負担金 3, 9 5 0, 0 0 0 円（東広島市からの負担金）

支出：業務費 3, 9 5 0, 0 0 0 円

※R 5 年度にコミュニティバスの運行改善にかかる予算を取っていたが、R 5 年度は地域におけるデータ収集や意識醸成の取組みに時間を要した。R 6 年度よりコンサルと契約し、具体的運行な運行改善の取組みを進めていくため、R 5 年度予算を繰り越すものである。

4 事業概要

1. 住民組織の会議支援

- ・有識者からの助言や他市事例紹介、先行地域への視察の機会を設定

2. 検討組織の体制基盤の構築

3. 地域交通のあり方検討

地域要望の精査及び計画変更の検討

- ・地域や事業者からの要望を精査、調整
- ・需要の掘り起こし
- ・事業者へのヒアリング

4. その他必要な支援

5 スケジュール（予定）

4 月～5 月	・プロポーザル方式により、コンサル事業者決定、契約
6 月～R 7. 3 月	・運行改善支援